【別紙】

新耐震木造住宅検証法による所有者チェックシート（2000 年５月以前新耐震基準用）

【問 合 先】〒４９６－８６８６
（住所） 津島市立込町２丁目２１番地
（担当） 都市計画課 都市計画グループ
（電話） ０５６７－５５－９６２７
（ＦＡＸ） ０５６７－２４－９０１０

【新耐震木造住宅検証法とは】

ステップ１ 「新耐震木造住宅検証法」の対象となる住宅かチェック

1981 年６月から 2000 年５月までの間に建てられた木造住宅ですか？
□いいえ → 新耐震木造住宅検証法の対象外（無料耐震診断も対象外）
□は い（建築年月： 年 月）

在来軸組構法の住宅で基礎がコンクリート造ですか？
□いいえ（よくわからない・基礎がコンクリート造ではない） → 新耐震木造住宅検証法の対象外（無料耐震診断も対象外）
□は い

平屋建て、または２階建てで、全ての階が木造ですか？
□いいえ（3階建て・1階が鉄筋コンクリート造または鉄骨造） → 新耐震木造住宅検証法の対象外（無料耐震診断も対象外）
□は い（平屋建て・２階建て）

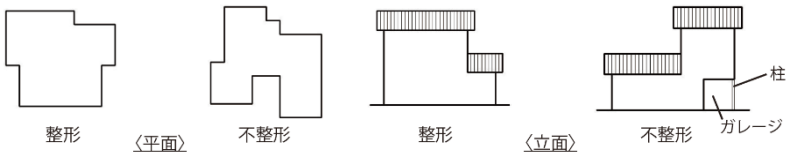
ステップ２の「所有者等による検証」へお進みください。

ステップ２ 所有者等による検証

チェック１ 平面形状、立面の形状は整形ですか？

□は い（比較的整形です）

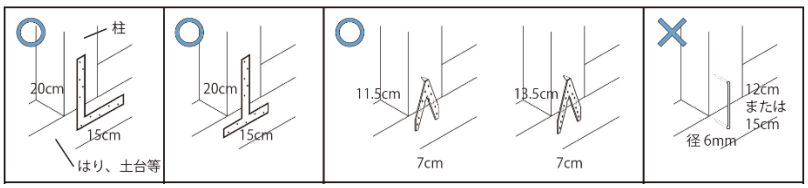
□いいえ（不整形・よくわからない）



チェック２ 柱とはりの接合部に接合金物が使われていますか？

□は い（金物が使われている）

□いいえ
（接合金物が使われていない・よくわからない）



（裏面へ続く）

本チェックシートは、（一財）日本建築防災協会発行「―昭和 56 年６月から平成 12 年５月までに建築された―木造住宅の耐震性能チェック（所有者等による検証）」に基づき、愛知県内で実施する木造住宅無料耐震診断で使用するものです。

【別紙】

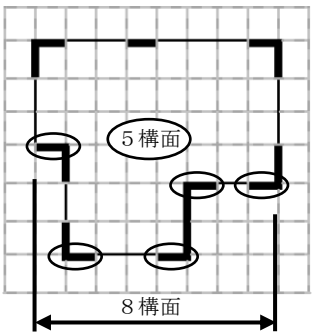
ステップ２　所有者等による検証（続き）

チェック３　１階の外壁面（４面）で、窓やドアなどの開口のない壁の長さの割合は 0.3 以上ですか？

□は　い（すべての面で 0.3 以上である）　　□いいえ（ひとつの面でも 0.3 未満がある・よくわからない）

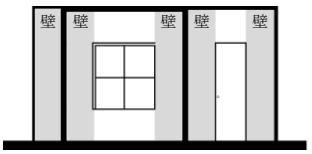
（計算例）

平面図



５構面(壁)÷８構面(全面)=0.6
≧0.3

立面図



チェック４　劣化のチェック　　合計　　点

項目			１点		０点
イ	外壁	□	ひび割れや剥落、水浸み痕、こけ、腐朽などが全くない。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	□	ひび割れや剥落、水浸み痕、こけ、腐朽などがある。
ロ	屋根	□	瓦やスレートが健全で、棟や軒がまっすぐで波打ったりしていない。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	□	瓦やスレートが割れたり、棟や軒が下がったり波打ったりしている。
ハ	基礎	□	ひび割れが無く健全である。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	□	ひび割れが散見される。
ニ	床	□	傾斜が無く、大きなたわみや振動が無い。あるいは、リフォームを行っている。	□	傾斜がある。または過度のたわみや振動がある。
ホ	浴室	□	ユニットバス。あるいは、リフォームを行っている。	□	タイル貼りなどの在来浴室。

ステップ３　所有者等による検証結果

回答結果	判定（いずれかに○）
ステップ２のチェック１～３でひとつでも「いいえ」がある、またはチェック４で３点以下の場合	専門家による検証が必要 （専門家による無料耐震診断の対象）
ステップ２のチェック１～３ですべて「はい」かつ、チェック４で４点以上の場合	一応倒壊しない ※地盤については考慮していない

本チェックシートは、(一財) 日本建築防災協会発行「―昭和 56 年６月から平成 12 年５月までに建築された―木造住宅の耐震性能チェック（所有者等による検証)」に基づき、愛知県内で実施する木造住宅無料耐震診断で使用するものです。